



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週 報

2025～2026年度 RI会長 フランチェスコ・アレツツォ
RIテーマ UNITE FOR GOOD

クラブテーマ「”笑顔”のために手を取りあおう」

会長 服部光弥 幹事 小島 真

第1617回 例会 2025.9.26(金)晴

司会: 杉山寿美子君

ロータリーソング「奉仕の理想」 指揮: 高橋大輔君

事務所 三島市泉町9-8 1F南

TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 服部光弥君

皆様、本日は毎年恒例、年1回の「米山梅吉記念館移動例会」です。本来でしたら、「米山月間」とされる来月10月にプログラムするのですが、今年は他クラブまた会場都合により前倒しの9月開催とさせていただきます。

国際ロータリーが指定したロータリー10月月間テーマは「経済と地域社会の経済発展」ですが、日本独自の月間テーマとして10月は「米山月間」となっていますがなぜ10月なのでしょう？1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しましたが、東京RCによる「米山基金」から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が10月だったことが大きな理由とされているそうです。1975年8月から始まった「米山週間」が1983年からは10月「米山月間」と定着し今に至っているそうです。

ということで、先日9月20日ここ米山梅吉記念館で「秋季例祭」が執り行われました。実施に先立ち、当クラブから米山記念館運営委員会へ出向されている矢岸パスト会長のご尽力に感謝申し上げ、そして当日参加していただいた加藤パスト会長、米山パスト会長、佐野彰重君、原国太郎君、お疲れさまです。私は入会して3回目の参加でしたが、当時に比べ参加者が少なくなったなあという印象でした。さて、我々せせらぎ三島ロータリークラブも諸先輩方々のご尽力のおかげで15年振りに米山奨学生をお迎えできるクラブに戻れました。そして、本日はここ米山梅吉記念館にて奨学生のダイユウチョウ君の卓話となります。ダイ君そして我々も笑顔溢れる時間となりますことを祈念いたしまして会長挨拶とさせていただきます。

出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	34/40	85.00%	37/40	92.50%
今回	26/40	65.00%	会員総数	42名

欠 席 者

あなたが見えなくて残念でした。

新井君、伊丹君、遠藤君、大庭君、大村君、加藤(貴)君、小林君、杉橋君、土屋君、原(国)君、藤川君、矢岸君、吉村君、渡邊君
(*出席免除会員の欠席者 片野君 山本君)

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

代ユウチョウさん(米山奨学生)



パプアニューギニア駐日大使Samuel ABAL氏が例会に参加されました



スマイルボックス

米山晴敏君:もうすぐ後期高齢者になります。

矢岸貞夫君:前回例会時、私のせがれが所属している三島商工会議所青年部(YEG)の事業PRに際し、皆さまから多大なるご支援をいただきましたこと、誠に感謝申し上げます。ここにスマイルいたします。

服部光弥君:昨日、せせらぎ三島ロータリークラブと三島ライオンズクラブとの対抗ゴルフコンペに出場し、優勝させていただきました。第1回は三島ライオンズチームが勝利。惜しくも負けたせせらぎが幹事で、翌年4月9日 第2回対抗戦を開催します。嬉しさと悔しさ、そして昨日一日の笑顔にSmileします。

高橋麻子君:代ちゃん、卓話頑張ってください。

成川尊裕君:日曜日、楽寿園にてせせらぎ祭があります。みなさまに手伝ってほしいことはありませんが、ぜひ遊びに来て様子を見てほしいです。よろしくお願いします。

卓話



代ユウチョウさん
(米山奨学生)

皆さん！こんにちは！
今回はどういふ話題にしようか
なつて悩んでいましたが、
ちょうど最近彼女と一緒に日
本と中国の学校事情につい
て話していたので、そこで

得た気づきなどを皆さんにシェアしたいと思います。

今週彼女とデートしているときに、彼女から「今日私立小学校の制服を着ている子供とブランド品を持ってる親を見たんだけど、すごいな」って言われました。ブランド品を持ってる親の部分はともかくとして、私立小学校に行ってる子供がいるのってすごいことなのかなって思いました。中国では、少なくとも僕が生まれた山東省では、小学校も中学校も高校も大学も、公立学校の数が圧倒的に多いです。偏差値で言っても中国の公立学校の偏差値も私立学校の偏差値より高いです。公立学校の学費もちろんとても安い。海外留学を教育目的とする私立国際学校にいく人たちを除いて、基本的に、中国国内進学をメインでやっている中国の私立学校に行く人というのは、お金は少し持っているかもしれませんが、子供の頭が悪くて、公立にいけないから私立に行ってしまう負け組というイメージを持ちます。なので、彼女から「私立小学校の制服を着てる子供がいたよ」という話をされたときに、僕は全然どこがすごいのかよくわからなかったです。

その後で、彼女は日本の私立学校の学費や教育環境など、色々説明してくれたので、僕もそれを聞いて日本の私立学校のすごさがわかりました。そこで気づいたところがあります。日本は学費の高い私立学校の偏差値も教育環境もいいという傾向があります。しかし、中国の方では公立学校の偏差値も教育環境も整えているのに、学費が驚くほどとても安いです。これは資本主義と社会主義の区別を表しているのではないかと思います。資本主義なので、お金を持っている資産家の子供たちが学費の高い私立学校に行つて良質な教育を受けるのが当たり前で、高い学費を支払えない貧乏な学生は良質な教育を受けられないのが当たり前だという考え方から生まれた教育体制だと思いました。しかし、社会主義の国は、皆に平等に良質な教育を受けるチャンスを与えるべきだという思想が強く、学校事業を国の福利厚生事業みたいな感じで推進しているので、公立学校は安い学費で私立学校より良質な教育を提供できるのではないかと思います。じゃ、今の中国は社会主義国といつても、市場経済をやっているんで、資産家も沢山いるはず、その資産家たちの子供たちはどうなっているの？と疑問を持っているひともいると思いますが、ここだけの話なんです、海外に留学したい人は国際学校に行きますし、頭のいい子供は自分の実力で試験を受けて公立学校に行きますし、頭の悪い資産家の子供は親が人脈を動かして賄賂でもして偏差値の高い公立学校に送られています。日本だったら公立学校の裏口入学は大きな社会問題になりますが、中国の公立学校は普通に裏口入学がいついもある。日本と中国の公立学校、私立学校の区別の話をしていたので、日本と中国の大学入試の違いについてもみなさんにすこしシェアしたいと思います。中国にも日本にも推薦入試や社会人入試、飛び級入試、内部進学など多種多様な入試制度がありますが、今日はそれらではなく、具体的に日本と中国の共通テストの違いについて話したいと考えます。

自分は日本のセンター試験、共通テストを受験したことはないですが、インターネットで調べた情報や実際に共通テストを受けたことのある日本人の友達から聞いた話からだと、日本の共通テストは日本全国の大学が同じ日に同じ試験問題で試験を行なっているということです。受験する学生たちのスタートラインが違うかもしれないなどの話を一旦置いて、日本の共通テストはある意味でとても公平な試験だと私は感じました。

しかし、中国の共通テストは全然公平ではありません。そもそも中国には全国レベルの共通テストがないと言ってもいいでしょう。中国の共通テストは各地域、各省で行われることが多いです。日本人の感覚で言うと、関東・関西・中部地域は自分それぞれの共通テストがあつて、更に言いますと、東京独自の沖縄独自の共通テストも十分あり得ます。もちろん、地域や都市によって共通テストの内容と難易度も全然違います。中国人の学生たちはその内容も難易度も違うそれぞれの地域独自の共通テストでできた成績を持って中国全国の大学に出願しなければなりません。更に、中国の大学は学生を募集するときも、中国全国の学生に向けて枠を設けるのではなく、それぞれの地域に向けてそれぞれの枠を設けることが多いです。例えば、お金持ちやエリート層の多く住んでいる北京や上海に枠を多く設けたり、治安維持の理由で少数民族の多く住んでいる西部地域に枠を多く設けてあげたりしています。話し方が荒くなるかもしれませんが、日本人の感覚で言うと、例えば東京大学は1年間100人の学生を募集するとすると、その内の50人は東京人限定枠、30人は大阪人限定枠、15人は沖縄人限定枠、残りの5人の枠は東京、大阪、沖縄を除く他の地域の学生が競争することになるような感じです。

中国の人口は日本の10倍以上もあるのに、全国の大学の数は日本と同じです。このような大学入試システムの下、自分の出身地域によっていくら頑張つてもいい大学に進学できない中国人の学生が沢山います。

最初の時に話していた中国の公立学校は圧倒的に多くて、安い学費で良質な教育を提供できるところは本当に中国の強みだと思いますが、裏口入学問題や大学の進学問題など色んなところでまだ深刻な課題が残っているので、中国もいつか日本のようなある意味で公平な教育システムを持つ国になればいいなと考えました。

おめでとう

会員誕生日

9月27日	米山晴敏君
9月29日	高橋大輔君
10月2日	佐野彰重君

